



京セラコミュニケーションシステム株式会社

- 社名(商号) : 京セラコミュニケーションシステム株式会社
- 本社所在地 : 京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町6
- 事業エリア : 全国 ※一部離島を除く
- 定格容量 : 1075MW
- 公式HP : <https://www.kccs.co.jp/>

未来に新しい価値とクリーンなエネルギーを届ける再エネ事業

1975年からスタートした京セラグループの太陽光発電事業のノウハウを活かした高品質なサービス

太陽光発電所建設実績 **全国計:1075MW**

太陽光設備の【設計】【調達】【建設】【保守】を全国エリア問わず一気通貫にご提供が可能です。 ※一部離島を除く
企業のCO2排出削減目標から、削減計画をシミュレーション。サステナビリティ経営を下支えするきめ細やかなサービス。



屋根設置



水上設置



蓄電池設置



O&M／監視センター

総合力を活かした効率的且つ高品質なプロジェクト運営をご提供致します

POINT
01



POINT
02



POINT
03



全国での施工実績一気通貫で対応可能

全国で累計約 1GW以上の太陽光発電を建設しており、土地開発から施工・保守まで一貫してサポートいたします。また、300社以上のパートナーと連携し、全国で約1,400件以上の施工実績を誇ります。

* 実績は約27万4,500世帯の年間電力消費量に相当。

安定性を誇る監視体制でサポート

約500カ所の豊富な実績に基づき、お客様の発電設備の最適化を支援いたします。24時間365日の遠隔監視によるトラブルの早期発見、リパワリングなど、さまざまなソリューションをご提供いたします。

京セラグループならではのノウハウ

1975年から蓄積された太陽光発電のノウハウを持つ京セラグループならではの、長年培ってきた知識と経験を活かし、お客様のニーズに合わせた最適な施工や最適なソリューションをご提供します。

GHG排出削減の取り組みソリューション提案事例



再エネ発電シミュレーション

発電量・投資回収計画



再エネ発電計画・設計・施工

プロジェクト実行・マネジメント



- ・太陽光
- ・蓄電池
- ・EV充電

活用状況の把握・利活用提案

利活用の促進



- ・セカンダリー
- ・リパワリング



運用サポート・改善提案

常時監視



- ・24時間監視
- ・発電量分析
- ・駆けつけ...etc

保守計画



- ・消耗品交換
- ・機器更新
- ・保守計画更新...etc

定期点検



- ・不具合確認
- ・ドローン撮影
- ・発電性能診断...etc

施設管理



- ・除草、除雪作業
- ・防犯対策
- ・パネル清掃...etc

定期点検・設備管理

・発電所が技術基準を維持しているかを確認すると同時に、定期点検による太陽光発電システムの健全性の確認も併せて発電所が支障なく運転できているか、不具合の兆候は無いか、設置環境のご相談も含めて発電所の健全運用に寄与します。

定期点検メニュー

- 外観目視点検
- 電気測定
- 動作試験



設備管理メニュー

- 異常時駆付け対応
- 太陽電池洗浄作業
- 除草作業
- 除雪作業



ドローンでのパネル発熱観測を保守点検に活用

・ドローンによる撮影と線測定器による結果をもとに、専門家が太陽光発電所の状態を診断いたします。
診断結果のご報告と併せて、発電所の改修についてご提案致します。



取組み事例：営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）



初期投資ゼロで始める「営農型太陽光発電」を開始

・このたび新たに開始する営農型太陽光発電は、KCCSが農地に農業用ハウス一体型の太陽光発電所を建設し、建設費用を負担します。これにより、営農者は高額な農業用ハウスへの初期投資がゼロとなり、月額設備利用料のみの支払いで農業を開始することができます。

発電した電力は、KCCSが再生可能エネルギーを必要とする企業へ供給し、営農者は農業用ハウス内で営農を行うことで、農地の有効活用が図れます。

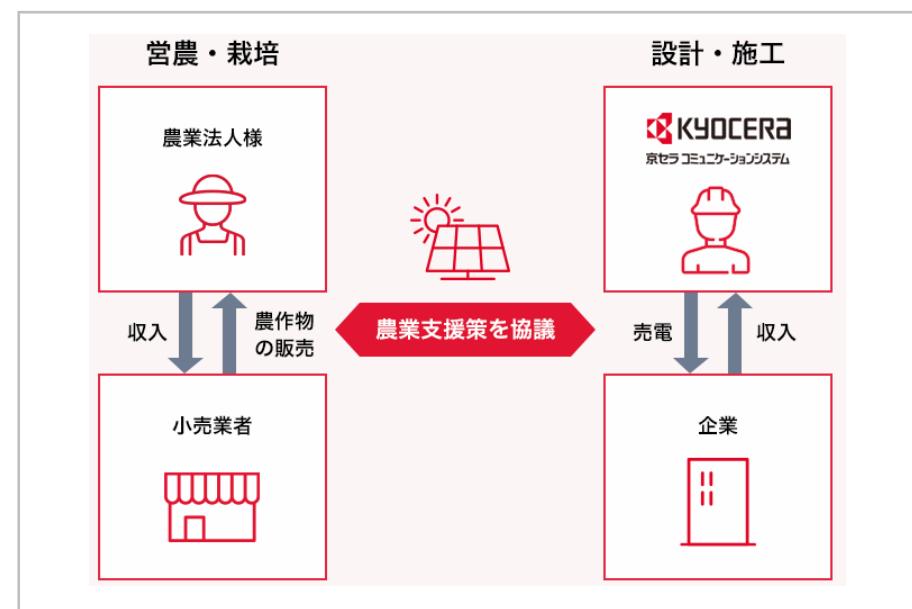
所在地	岡山県玉野市槌ヶ原、迫間、大崎
発電容量	発電設備：1.2MW
年間予測発電量	約136万kWh
CO2削減量	約580t／年
営農作物	原木椎茸、イチジク、ライチ、ブドウ
スケジュール	2024年7月下旬 稼働開始 2025年度 追加で2基運転開始予定

取組のきっかけ、課題/工夫点等

・エネルギー不足の解消や脱炭素社会の実現に向け、太陽光発電所の建設が進められていますが、太陽光発電設備の設置に適した土地が減少してきています。農業においては、担い手不足や高齢化、耕作放棄地・荒廃農地の増加が課題となっており、これらの課題を解決し、農業を活性化させていく為に、高いハーダルとなっている農地確保や高額な設備投資の課題解決を目指しました。



事業スキーム図



取組み事例：ゼロエミッション・データセンター 石狩



ゼロエミッション・データセンター 石狩を開所

- 北海道石狩市にて建設を進めておりました再生可能エネルギー100%で運営する「ゼロエミッション・データセンター 石狩（以下ZED石狩）」を2024年10月1日に開所しました。
- 石狩湾新港洋上風力発電所の電力と、データセンターの近隣に新設した当社所有の太陽光発電所の電力を組み合わせて利用し「生グリーン電力」でデータセンターを運用します。
- また、現在の脱炭素化の取り組みでは、年間総需要量に相当する再エネを調達する実質再エネ100%が主流となっていますがKCCSは蓄電池とAI技術を活用した電力需給制御と電力需要のタイムシフトの推進により、時間単位でカーボンフリー電力をマッチングする取り組みを行い、国内のデータセンターで初となる常時再エネ100%を実現します。

所在地	北海道石狩市 石狩湾新港地域
敷地面積	約15,000m ² （延床面積：約5,300m ² ）
サーバー室面積	約1,100m ²
床荷重	最大1,500kg/m ²
ラック数	400ラック
受電容量	2~3MW
通信回線	・キャリアフリー ・複数経路引き込/構内配線可能
セキュリティ	・24時間365日オペレーションスタッフ常駐 ・セキュリティゲート/監視カメラ ・ICカード/生体認証

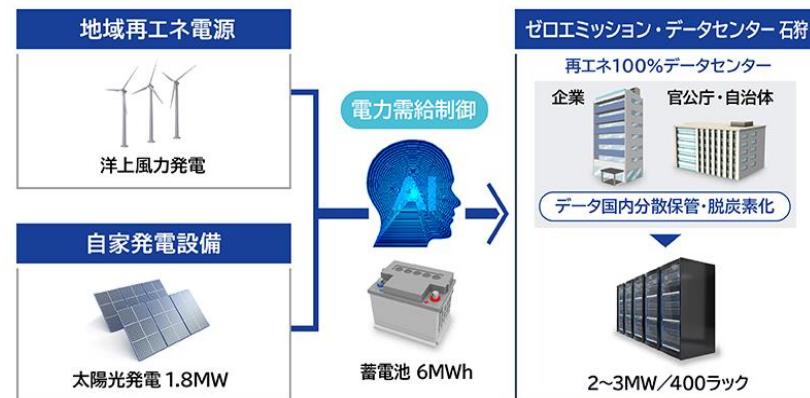
取組のきっかけ、課題/工夫点等

- ZED石狩を通じて、お客様のDX推進やAI活用における脱炭素化・SDGsへの取り組みを支援し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。また、国内でのデータ分散保管や、データセンター技術者・エネルギー関連技術者などの雇用創出による地域活性化を目指します。



ゼロエミッション・データセンター 石狩の外観

事業スキーム図



ゼロエミッション・データセンター 石狩の電源構成